

# 2018 年度理事長所信

2018 年度 一般社団法人 安来青年会議所 スローガン

## 『 一 心 』

第 52 代 理事長 日野 泰介

### 2018 年度基本方針

1. 若者が集うまち安来 ～ 若者の声を吸い上げ新たな魅力と交流を創る
2. 健全な青少年の育成 ～ 地域全体で思いやり溢れる青少年を育成する
3. 次代を担う人財への成長 ～ 成長の機会を創出しリーダーとしての資質向上を図る
4. 会員拡大は人との出会い ～ 人やまちを惹きつける情熱ある運動を展開する

#### 【はじめに】

我々青年会議所は「まちづくり」「青少年育成」を通じて、よりよい社会の実現を目指し、地域に根差した運動を行っています。また、己の成長をもって地域を発展させるという理念の元、会員自らの資質向上、即ち地域のリーダーとなる「人財」の育成にも力を入れています。そして、運動を通じてより魅力ある安来というまちを築いていくためには、市民と共に魅力あるまちを創造し、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という住民が主役の自立した安来を形にすることが必要不可欠だと考えます。そこで、我々が住む安来を思う心の共有こそが、主体性あるまちづくりの基礎となることを意思統一するために 2018 年度安来青年会議所はスローガンを「一心」と致しました。この言葉には、心を一にする、一つの事に集中するという意味があります。メンバーが同じ目的で心を一に一丸となり安来の未来に向けて価値ある事業を展開していくことで市民一人ひとりが心を一に自分の住むまちと積極的に関わり、安来をより良くすることにつながっていきます。

#### 【若者が集うまち安来】

我々の住む安来では人口減少による過疎化の問題を抱える一方、各地には経済発展をもたらす魅力のある自然や文化、観光、産業といった地域資源が豊富にある地域です。過疎化の問題の中でも特に若者の県外流出は顕著であり、若者をいかに地域に根付かせ

るかが人口問題からみて安来の将来を考える際には欠かせません。もちろん進学のため一時的に安来を離れる場合も多くありますが、安来に住みたい、戻ってきたいと考える若者がいなければ県外流出は止まらず、安来の魅力が未来に繋がることなく途絶えてしまう恐れがあると考えます。

そこで、我々青年会議所は責任世代として、若者がいま何を考えてどのような期待や不安を抱えているのかということに寄り添い、その若者の思いを全世代において共有し、まちづくりに反映することで、一人でも多くの若者たちに安来を好きになってもらうことを目指します。また、若者の価値観が多様化し、「田舎暮らし」や「自分の幸せ」を求める若者に対しても独自の創意工夫をもって、安来の魅力を発信しこのまちに「住みたい」「行ってみたい」と思ってもらえる人を増やすことも重要です。

さらに地域内外の人と人が繋がり若者が活発に交流することのできる新たな魅力を生み出し安来の魅力を輝かせる事業を展開するとともに、市内外に広く発信し交流人口の拡大を目指します。若者が集うまち安来の創造のために必要となる魅力を創出し発信していきます。

#### 【健全な青少年の育成】

これから築く未来において地域を担っていくのは今の子どもたちであり、子どもたちはまさに地域の未来そのものです。しかし、今の子どもたちはテレビゲームや携帯ゲームの普及により「個」になる機会が増え、それに伴い親子間での会話の減少を招き、さらには、地域での世代を越えた交流の減少など「個」で遊ぶことが多くなった結果、さらに「個」が孤立することで周囲に思いやりを持ってなくなり、思いやりを持ってない子どもたちは、ますます周囲への繋がりが持たなくなっていると考えます。

我々の青少年期においては、自分たちの住む地域で体験した楽しい思い出や、その中で生まれる、人との繋がりを得られる機会が多くあり、そこで相手を慮る精神を学びました。このような環境は思いやりの心を高め、子どもたちにとって大きな糧となり、今後の健全な成長に繋がると考えます。また、子ども同士で学び合い、世代交流をすることで、相手に対し思いやりの心を持ってもらうことにつながります。

このように健全な青少年を育成するために地域に根差す我々青年会議所は、子どもたちを対象とする運動に地域の多くの大人たちを巻き込まなければなりません。思いやりに対する大人たちの見識を高め、さらには地域全体で思いやり溢れる健全な青少年の育成を行うことで、我々大人たちにとっても成長につながり、心豊かな地域社会を構築していきます。

#### 【次代を担う人財への成長】

我々青年会議所は、数あるまちづくり団体の中でも、十分な検討と準備を重ねた上で計画を実践する団体であることに大きな存在価値があります。仮に我々青年会議所が、

机上で夢を語るだけで実際に何も行動を起こさないのであれば、それは存在価値を失うこととなります。我々青年会議所は共に運動を展開する仲間たちと、夢を持ち、若きエネルギーを存分なく発揮し、自分の五感でよく見聞きし、具体的な計画をしっかりと掘り下げて検討し、仲間と共に目的に向かって行動することができる「人財」へと成長するための団体であり、その成長を地域のリーダーとして地域社会に寄与することが求められています。

そこで我々青年会議所は、青年会議所の魅力を感じられる様々な活動や運動を通じてリーダーシップを学ぶと共に、メンバー同士や青年諸団体、その他の様々な団体との交流、連携を通じて相互の強い絆を生み出し、次代への「人財」に成長していくことができる機会を創出します。もちろん、運動を牽引する立場にあるリーダーの研鑽も大きな課題です。リーダー自身が、経験の浅いメンバーに対して助言や指摘をしっかりと伝えられているのかを自問自答すること、事業の構想を練り具体的な形にしていく手法を組織全体として確立すること、このまちの未来をより良いものにしたいという情熱や理想を言葉で伝えていくことが必要となります。メンバー各々がお互いに研鑽に励むことにより、次代を担う人財への成長へと繋げ、組織全体がより強固で光り輝くものとなる一年を目指します。

#### 【会員拡大は人との出会い】

我々青年会議所は、なぜ会員の拡大をしなければならないのでしょうか。青年会議所の使命は、20歳から40歳までの青年世代がメンバーとして「明るい豊かな社会」の構築を目指した運動をしていくことです。この40歳までの年齢制限は青年会議所最大の特徴であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっており、この制約があるからこそ、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献ができるのだと思います。

現在、安来青年会議所においては全盛期に比べ会員の減少が進んでいます。このままでは組織存続や維持を目的とした議論ばかりが議題に上がり、本来あるべき「まちづくり」や「青少年育成」に向けた事業に対して情熱を注ぐことが困難になる恐れがあります。そうならない為にもメンバー一人ひとりの会員減少に対する危機感が必要不可欠です。今年度は多くの事業に安来の若者たちにご参加いただき、まちの魅力やおもいやりの心を共に勉強し共に語らうことで、今まで安来に対して情熱を持てていなかった若者たちにも安来に興味を持ってもらおうと同時に、まちに対する熱い思いを呼び起してもらい、一人でも多くの若者と今後の安来の未来に向けて共に運動ができるよう、会員拡大を行って参ります。

会員拡大は人との出会いであり、青年会議所の根幹をなすものです。一人でも多くの情熱を持った若者たちと出会い、若い我が手を取り合うことで、社会を変える力強い運動が展開できます。人やまちを惹きつける青年会議所運動の魅力を大いに活かし、多くの出会いを大切に一年に行きましょう。

### 【結びに】

青年会議所は「最後の学び舎」ともいわれ、一人の大人として、地域のリーダーとして様々な成長の機会を与えてくれます。青年会議所でしか経験できない活動、青年会議所でしか会う事ができない機会に積極的に参加する事により、自分自身の成長につながり、自分の住むまち・自分の働く会社・自分の家族にも還元できるものと考えます。だからこそ、何事にも失敗を恐れず、自分の可能性を信じて青年会議所運動を仲間と共に同じ目標に向かって「一心」に取り組み、市民と共に魅力あるまちを創造していきます。

一年後、誰よりも成長した自分に期待し、その何年後かにこの経験があったからこそ今があると言えるように、2018 年度をメンバー全員が心を一つに全力でやり遂げることをお約束致します。すべては明るい豊かな安来の未来のために。皆様におかれましてはご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## 所信

副理事長 浅野 周作

2018年度、日野理事長より副理事の職を仰せつかりました。「一心」のスローガンの下、副理事長として担当する委員会の委員長およびメンバーに対して適切な助言、指導を行うとともに、会員経験の浅いメンバー、そして自分自身もより一層成長できるよう心掛けてまいります。

人口減少、少子高齢化等、様々な問題の波がこの郷土にも大きな影響を及ぼしつつありますが、創立以来52年目を迎えた当会議所の諸先輩方が掲げられた高い志と理想を受け継ぎ、メンバー一同と心を合わせ、この安来の未来が明るく豊かなものになることを目指して共に知恵と汗を絞っていく所存です。

1年間、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 所信

副理事長 大和 晃介

2018 年度、日野理事長より一般社団法人安来青年会議所の副理事長を仰せつかりました。日野理事長の掲げておられますスローガン「一心」のもと、副理事長としてこの一年間は理事長の想いを委員長へまた、委員長の想いを理事長へ伝えていけるよう全力を尽くし、委員長また全メンバーと心をつにし、全ての事業に関わりを持つと共に自分がこれまでに経験した事を少しでも伝えていけたらと考えております。一年間は長くもありあっという間に過ぎていきます。一日一日を大切にし、切磋琢磨することで自分にとって委員会メンバーにとっても一人の人間として成長できるよう務めたいと考えておりますのでどうぞ一年間よろしくお願い申し上げます。

## 所信

副理事長 木下 淳

2018 年度副理事長を務めさせていただきます。理事長の掲げる「一心」のスローガンのもと、副理事長としてメンバーが「一心」に運動できるよう邁進していきます。

「一つのことに集中する」「みんなで心をひとつにする」ことは、組織としては当たり前のようなことかもしれませんがとても難しいことであると考えます。そして、良い事業に共通していることはメンバー全員で「一心」となった事業ではないかと考えます。この単純だけでも難しいことをメンバーと共有し、素晴らしい事業を創り上げていくとともに、自分自身も成長していけるよう頑張りますので1年間よろしくお願ひ致します。

## 所信

青少年育成委員会  
委員長 前田 訓以

今の子どもたちは少子化による近所の友達の減少、習い事やスポーツへ取り組む子どもも多く、友達と遊ぶ時間自体減少しています。さらに地域との関わりも減り、子どもたちが様々な人達との出会うことにより得られる感性や将来への可能性を切り拓く機会の減少にも繋がっているものと強く感じます。また家庭での日常生活の何気ない会話や質問、疑問など子どもの話に耳を傾ける事で育まれる時間、心の奥に抱えている感情を理解することで興味を持っている事、悩みや問題に対して気付く為の機会も親子には必要であり、その悩みや問題を共有し解決する事によって、心の安らぎや親子の絆を育む事ができるものと考えます。

昨年に引き続き行う「OMOIYARI音楽会」においても、手話や合唱を行う過程を通して、家族と思いやりの心について話し合う事で、日頃知ることのない一面も発見できるものと確信しております。また子どもたちが将来への可能性を切り拓くことのできるよう機会を創出します。そして、子どもたちが思いやりの心を家庭から地域へ地域から安来全体に広がることにより、心豊かな社会になり、より良い安来の未来を担ってくれると信じています。

私たちは次代を担う子どもたちに携わる方々や地域、行政と連携をとりながら、地域全体で安来のたからである子どもたちの成長を導き、心豊かな青少年の育成に取り組んで参ります。一年間精一杯委員長を努めさせていただきますので宜しくお願い致します。



## 所信

まちづくり推進委員会  
委員長 宇山 賢二

現在、安来には豊富な地域資源があり、それらを活用したまちづくりが行われていません。まちづくりには若者の力が必要不可欠であり、今後も安来のさらなる発展を目指すために、また豊富な地域資源を未来へと繋げていくために、次代の担い手となる若者の地元への定着を図る必要があると考えます。

そこで私たちは、若者が集うまち安来の創造を目的とし、将来の安来に対して不安を感じている若者や、進学や就職等で県外に出ようと考えている若者、市外から移住してきた若者に、今安来に対して感じている魅力や抱えている不安はどのようなものなのか考え、言葉にしてもらい自分自身で発してもらいます。そしてその思いを私たちが汲み取り、深く掘り下げ、若者に共感を得てもらえるような安来ならではの魅力を創出します。

そして創出された魅力をどのように活用すれば、若者の集うまち安来の創造に繋がるか考え、独自の創意工夫を持って、市内外へ広く効果的に発信していきます。

このような事業を行うことで、一人でも多くの若者たちに、安来のことをより好きになってもらい「住みたい」「行ってみたい」、或いは「残りたい」「戻ってきたい」と思ってもらうことで、市内外の若者の交流が活発になり、若者が集うまち安来の創造へと繋がります。

委員会メンバー全員で若者が集うまち安来の創造に向けて、心を一つに、創意工夫をもって、魅力を創出し発信していきますので、どうぞ一年間よろしくお願い致します。

## 所信

会員開発推進委員会  
委員長 遠藤宗一郎

安来市には青年と呼ばれる年齢層で組織された主要となる四団体が存在しており、青年会議所も地域を盛り上げるべく日々試行錯誤しながら運動を重ねている団体の一つです。

とりわけて青年会議所が目的として掲げる、明るい豊かな社会の実現に向けた「地域社会及び地域住民福祉の向上」や「会員の連携と指導力の啓発」を図るべく事業を企画し実施するためには、自分の五感でよく見聞き、考え、掘り下げて検討する考察力と、それを机上の夢で終わらせないための実践力、一人では決して成し得ない組織力が必要となります。

そこで当委員会では、LOMメンバーが各事業を企画・展開する上で基礎となる様々な「力」を段階的に養うための事業を展開します。また個を磨き上げるだけに留めず、仲間と共に目的を共有して一致団結するために必要となる組織力を養うため、磨き上げた個の「力」をLOM内外へ発信する場を設けることで実現力ある人財の育成を目指します。

磨き上げられた個同士が「己の成長をもって地域を発展させる」という理念のもと、互いに肩を組合い一丸となって安来の未来に向けて価値ある事業を展開していくことで会員同士の連携を図り、所期の目的である地域社会・地域住民福祉の向上に繋がるよう努めて参ります。

安来青年会議所メンバーが心を一つにして邁進できる一年となるよう努力させていただきますので、一年間何卒宜しくお願い致します。

第2号議案

一般会計収支計算書

2018年度

自 平成30年 1年 1日

至 平成30年12月31日

島根県安来市飯島町1240番地3

一般社団法人 安来青年会議所

収支予算書

一般社団法人 安来青年会館所

(2018年1月1日から2018年12月31日まで)

(単位:円)

区分	科目	予算額	修正予算額	予算-修正予算	前年度予算額	昨年対比増減	備考	
大科目	中科目	小科目						
I 事業活動収支の部	1. 事業活動収入							
	① 入会金収入	( 100,000 )	( 120,000 )	▲ 20,000	( 100,000 )	20,000		
	入会金収入	100,000	120,000	▲ 20,000	100,000	20,000	20,000円×6名	
	② 会費収入	( 2,929,088 )	( 2,861,588 )	67,500	( 2,423,480 )	438,108		
	年会費収入	2,436,588	2,286,588	150,000	2,135,980	150,608	150,000円×15名+年会費18,294円×2名	
	新入会員年会費収入	412,500	495,000	▲ 82,500	247,500	247,500	150,000円×6名+2名×1500円×5名×6名	
	特別会員費収入	80,000	80,000	0	40,000	40,000	卒業生4名より	
	維持会員費収入	0	0	0	0	0		
	③ 事業収入	( 1,060,000 )	( 1,060,000 )	0	( 984,000 )	76,000		
	委員会事業収入	380,000	380,000	0	444,000	△ 64,000	精進、創立、卒業式	
	広告料収入	680,000	680,000	0	540,000	140,000	ふれあいの広告(2回分)	
	他事業収入	0	0	0	0	0		
	事業費預り金収入	0	0	0	0	0		
	④ 補助金等収入	( 300,000 )	( 300,000 )	0	( 200,000 )	100,000		
	補助金収入	300,000	300,000	0	200,000	100,000		
	⑤ 寄附金収入	( 0 )	( 0 )	0	( 0 )	0		
	寄附金収入	0	0	0	0	0		
	⑥ 雑収入	( 356,000 )	( 356,000 )	0	( 320,000 )	36,000		
	受取利息収入	0	0	0	0	0		
	その他収入	276,000	276,000	0	240,000	36,000	貸貸収入23,000円×12ヶ月	
	業務委託金収入	0	0	0	0	0		
	雑収入	80,000	80,000	0	80,000	0	スマイルファイン、自販機収入	
	⑦ 他会計からの繰入金	( 0 )	( 0 )	0	( 250,000 )	△ 250,000		
	特別会計繰入金	0	0	0	250,000	△ 250,000	ブロック会長積立金	
	基金会計繰入金	0	0	0	0	0		
	事業活動収入 計		4,745,088	4,697,588	▲ 47,500	4,217,480	420,108	
	2. 事業活動支出							
	① 事業費	負担金支出	( 2,853,917 )	( 2,870,948 )	▲ 17,031	( 2,275,815 )	598,133	
	JCI会費支出	26,442	24,973	1,469	16,640	6,333	1,469円×17名	
	日本JIC基本金支出	30,000	30,000	0	30,000	0	定額30,000円	
	日本JIC付加金支出	115,000	115,000	0	95,000	20,000	5,000円×(17名+ ) (6名)	
	国際協力金支出	41,975	41,975	0	34,675	7,300	365円×5月×(17名+新入会員6名)	
地区協議会負担金支出	23,000	23,000	0	19,000	4,000	1,000円×(17名+新入会員6名)		
ブロック協議会基本金支出	69,000	69,000	0	57,000	12,000	3,000円×(17名+新入会員6名)		
ブロック協議会付加金支出	30,000	30,000	0	30,000	0	定額30,000円		
その他負担金支出	69,000	69,000	0	57,000	12,000	ブロック大会3,000円×(17名+新入会員6名)		
購読料支出	61,500	60,000	1,500	52,500	7,500	250円×12ヶ月×(17名+新入会員6名)		
日本JIC出向	20,000	20,000	▲ 20,000	40,000	△ 20,000	浅野分		
事業費支出(委員会)	会員開発推進/結せる人育成 まちづくり推進/地域の魅力発信 青少年育成/青少年ゆめ /会員拡大	643,000 582,000 950,000 0	643,000 582,000 950,000 0	0 0 0 0	1,240,000 244,000 155,000 20,000	△ 697,000 338,000 795,000 △ 20,000		
事業費預り金支出		0	0	0	0	0		
諸謝金(経税)支出	褒賞記念品支出 次年度スローガン作成費支出 JIC渉外費支出	23,000 18,000 92,000	23,000 18,000 92,000	0 0 0	22,000 18,000 63,000	1,000 0 39,000	創立例会時褒賞記念品 2017年度スローガン作成 卒業・永年褒賞・誕生品	
諸謝金(非経税)支出	慶弔費支出	80,000	80,000	0	90,000	△ 10,000	他LOM税金、慶弔費	
② 管理費	給料手当支出 福利厚生費支出 地代家賃支出 火災保険料支出 通信運搬費支出 旅費交通費支出 光熱用水費支出 消耗品費支出 印刷製本費支出 修繕費支出 雑支出 租税公課	679,000 5,000 0 36,600 214,000 100,000 190,000 240,000 67,500 0 120,000 0	679,000 5,000 0 36,600 214,000 100,000 190,000 240,000 67,500 0 120,000 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	679,000 5,000 0 36,600 214,000 350,000 182,000 253,000 67,500 0 93,400 0	0 0 0 0 0 △ 250,000 36,000 △ 13,000 0 26,500 0	事務局人件費、交通費含む 労働保険 火災保険 WEB、TEL費等 バスレンタカー、プロ長出向旅費 ガス、電気、水道費、灯油 カウンター、プリンター 会員名簿、事務用品 1,500円×12ヶ月、改年度スターチケット	
③ 他会計への繰入金	周年事業特別会計支出 特別会計繰入金支出	( 150,000 ) 0	( 150,000 ) 0	0 0	( 150,000 ) 0	0 0	55周年事業・プロ長積立金	
事業活動支出 計		4,656,017	4,673,028	▲ 17,031	4,276,315	396,733		
事業活動収支差額		89,071	24,540	64,531	1,165	23,375		
II 投資活動収支の部								
1. 投資活動収入								
① 固定資産売却収入		( 0 )	( 0 )	0	( 0 )	0		
② 投資有価証券売却収入		( 0 )	( 0 )	0	( 0 )	0		
投資活動収入 計		0	0	0	0	0		
2. 投資活動支出								
① 特定資産取得支出	周年事業積立資産取得支出	( 0 )	( 0 )	0	( 0 )	0		
② 固定資産取得支出		( 0 )	( 0 )	0	( 0 )	0		
③ 投資有価証券取得支出		( 0 )	( 0 )	0	( 0 )	0		
投資活動支出 計		0	0	0	0	0		
投資活動収支差額		0	0	0	0	0		
III 財務活動収支の部								
1. 財務活動収入								
① 借入金収入		( 0 )	( 0 )	0	( 0 )	0		
財務活動収入 計		0	0	0	0	0		
2. 財務活動支出								
① 借入金返済支出		( 0 )	( 0 )	0	( 0 )	0		
財務活動支出 計		0	0	0	0	0		
財務活動収支差額		0	0	0	0	0		
IV 予備費支出								
① 予備費支出	予備費支出	89,071	24,540	64,531	1,165	23,375	総支出の3.0%まで	
当期収支差額		0	0	0	0	0		
前期繰越収支差額		996,965	1,213,621	▲ 216,656	1,213,621	0		
次期繰越収支差額		996,965	1,213,621	▲ 216,656	1,213,621	0		

正味財産増減予算書

一般社団法人 安来青年会議所 平成30年1月1日から平成30年12月31日まで

(単位:円)

科目	当年度予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 入会金	( 120,000 )	( 100,000 )	( 20,000 )
入会金	120,000	100,000	20,000
② 会費収入	( 2,861,588 )	( 2,423,480 )	( 438,108 )
正会員会費	2,286,588	2,135,980	150,608
新入会員会費	495,000	247,500	247,500
研修会員費	0	0	0
特別会員費	80,000	40,000	40,000
維持会員費	0	0	0
③ 事業収入	( 1,060,000 )	( 984,000 )	( 76,000 )
委員会事業収入	380,000	444,000	△ 64,000
広告料収入	680,000	540,000	140,000
他事業収入	0	0	0
事業費繰入収入	0	0	0
④ 補助金収入	( 300,000 )	( 200,000 )	( 100,000 )
補助金収入	300,000	200,000	100,000
⑤ 寄附金収入	( 0 )	( 0 )	( 0 )
寄附金収入	0	0	0
募金収入	0	0	0
⑤ 雑収入	( 356,000 )	( 320,000 )	( 36,000 )
受取利息収入	0	0	0
その他収入	276,000	240,000	36,000
雑収入	80,000	80,000	0
⑥ 他会計からの繰入額	( 0 )	( 250,000 )	( △ 250,000 )
他会計からの繰入額	0	250,000	△ 250,000
経常収益計	( 4,697,588 )	( 4,277,480 )	( 420,108 )
(2) 経常費用			
① 事業費	( 4,195,570 )	( 3,797,514 )	( 398,056 )
賃借料	830,000	310,000	520,000
委託費	292,000	272,000	20,000
諸謝金	272,000	401,000	△ 129,000
給料手当	603,556	599,118	4,438
福利厚生費	4,444	4,412	32
火災保険料	24,400	24,400	0
通信運搬費	192,600	192,600	0
旅費交通費	90,000	315,000	△ 225,000
光熱用水費	126,667	101,333	25,334
消耗品費	216,000	227,700	△ 11,700
印刷製本費	60,750	60,750	0
雑費	1,048,500	898,767	149,733
負担金	434,653	390,434	44,219
租税公課	0	0	0
② 管理費	( 327,478 )	( 328,802 )	( △ 1,324 )
委託費	6,000	6,000	0
諸謝金	8,000	9,000	△ 1,000
給料手当	75,444	79,882	△ 4,438
福利厚生費	556	588	△ 32
火災保険料	12,200	12,200	0
通信運搬費	21,400	21,400	0
旅費交通費	10,000	35,000	△ 25,000
光熱用水費	63,333	50,667	12,666
消耗品費	24,000	25,300	△ 1,300
印刷製本費	6,750	6,750	0
雑費	51,500	38,633	12,867
負担金	48,295	43,382	4,913
租税公課	0	0	0
経常費用計	( 4,523,048 )	( 4,126,315 )	( 396,733 )
当期経常増減額	( 174,540 )	( 151,165 )	( 23,375 )
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	( 0 )	( 0 )	( 0 )
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(2) 経常外費用			
① 固定資産売却損	( 0 )	( 0 )	( 0 )
固定資産売却損	0	0	0
経常外費用計	( 0 )	( 0 )	( 0 )
当期経常外増減額	( 0 )	( 0 )	( 0 )
当期一般正味財産増減額	( 174,540 )	( 151,165 )	( 23,375 )
一般正味財産期首残高	( 4,866,317 )	( 4,170,465 )	( 495,852 )
一般正味財産期末残高	( 4,840,857 )	( 4,116,345 )	( 724,512 )
II 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	( 0 )	( 0 )	( 0 )
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	( 0 )	( 0 )	( 0 )
指定正味財産期首残高	( 0 )	( 0 )	( 0 )
指定正味財産期末残高	( 0 )	( 0 )	( 0 )
III 正味財産期末残高	( 4,840,857 )	( 4,116,345 )	( 724,512 )

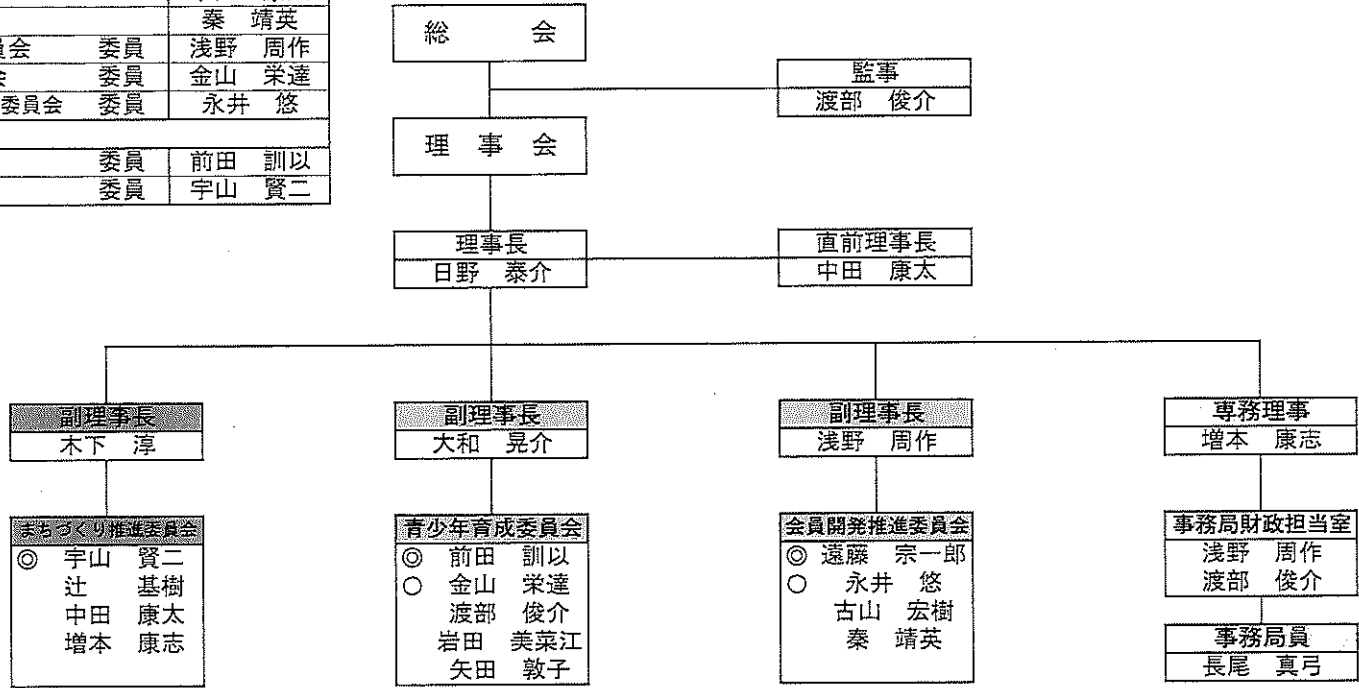
2018年度 一般社団法人安来青年会議所 委員会別事業予算書(案)

2017年度委員会	2018年度委員会	科目	2017年度予算	2018年度予算				備考 (2018年度の内容)	預り金	
				委員会別事業費						
				要求額	四役会	理事会	修正予算			
魅せる人財育成委員会	会員開発推進委員会	2月例会	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	会場設営費等	その他	
		第156回通常総会(2月)	0	0	0	0	0	2月例会と同時開催	法人会計	
		5月例会	300,000	5,000	5,000	5,000	5,000	会場設営費等	継続事業	
		7月例会	0	200,000	200,000	200,000	200,000	スキルアップ事業	継続事業	
		12月創立記念例会	412,000	420,000	420,000	428,000	428,000	飲食費等	その他	
		3分間スピーチ	0	5,000	5,000	5,000	5,000	褒賞	その他	
		1月新年例会	98,000					飲食費等	その他	
		8月例会	5,000					会場設営費等	その他	
		第155回通常総会	0						法人会計	
		卒業例会	160,000					飲食費等	その他	
		ふれあい新年号	130,000					広報費	継続事業	
		ふれあい年末号	130,000					広報費	継続事業	
	小計	1,240,000	635,000	635,000	643,000	643,000			0	
地域の魅力発信委員会	まちづくり推進委員会	新年例会		112,000	112,000	112,000	112,000	飲食費等	その他	
		4月例会		100,000	100,000	5,000	10,000	会場設営費等	継続事業	
		9月例会	145,000	100,000	100,000	5,000	100,000	会場設営費等	継続事業	
		第158回通常総会(11月)		0	0	0	0	卒業例会と同時開催	法人会計	
		卒業例会		210,000	210,000	210,000	210,000	会場設営費等	その他	
		ふれあい年末号		150,000	150,000	150,000	150,000	広報誌発刊	継続事業	
		3月例会	5,000					会場設営費等	継続事業	
		6月納涼例会	94,000					飲食費等	その他	
	小計	244,000	672,000	672,000	482,000	582,000			0	
青少年ゆめ創造委員会	青少年育成委員会	ふれあい新年号		150,000	150,000	130,000	130,000	広報誌発刊	継続事業	
		3月例会		5,000	5,000	5,000	5,000	会場設営費等	継続事業	
		納涼例会		75,000	75,000	134,000	110,000	飲食費等	その他	
		8月例会		5,000	5,000	5,000	5,000	会場設営費等	その他	
		第157回通常総会(8月)		0	0	0	0	8月例会と同時開催	法人会計	
		10月例会		145,000	145,000	145,000	700,000	OMO I Y A R I 音楽会	継続事業	
		4月例会	5,000					会場設営費等	継続事業	
		10月例会	5,000					会場設営費等	継続事業	
		3分間スピーチ事業	5,000					賞品代	その他	
7月例会(JC緑日祭)	140,000					会場設営費等	継続事業			
	小計	155,000	380,000	380,000	419,000	950,000			0	
推進大会	推進大会	8月例会	20,000					講師関係費	その他	
		小計	20,000	0	0	0	0			0
合計			1,659,000	1,687,000	1,687,000	1,544,000	2,175,000			0

2018年度 一般社団法人安来青年会議所 組織図

出 向 者	日本青年会議所 国家戦略グループ		
	道徳教育推進委員会	委員	浅野 周作
	中国地区協議会		
	総務渉外委員会	委員	遠藤 宗一郎
	島根ブロック協議会		
	直前会長		渡部 俊介
	直前会長補佐		古山 宏樹
	副会長		中田 康太
	副会長補佐		秦 靖英
	島根の魅力創造委員会	委員	浅野 周作
	憲法輿論確立委員会	委員	金山 栄達
	奇跡を起こす人材育成委員会	委員	永井 悠
6JC経済文化交流会			
	委員	前田 訓以	
	委員	宇山 賢二	

◎ 委員長  
○ 副委員長



事業 担当 割 当 会	1月	新年例会	まろづくり推進委員会	7月	会員開発推進委員会
	2月	総会	会員開発推進委員会	8月	青少年育成委員会
	3月		青少年育成委員会	9月	まろづくり推進委員会
	4月		まろづくり推進委員会	10月	OMOIYARI音楽会
	5月		会員開発推進委員会	11月	総会/卒業例会
	6月	納涼例会	青少年育成委員会	12月	創立記念例会
					会員開発推進委員会

刃物祭り担当	浅野 周作
3分間スピーチ	会員開発推進委員会
ふれあい新年号	青少年育成委員会
ふれあい年末号	まろづくり推進委員会